

へいたごばんしょあと
平田御番所跡

指定種別：市指定文化財

指 定 日：昭和 53 年 11 月 28 日

所 在 地：釜石市大字平田（むつわ公園内）

制 作 年：江戸初期



平田御番所は、文献により元禄 14(1701)年 10 月にはすでにあったことが記録されています。近世幕藩体制が成立する江戸初期、領土が接することとなった南部氏と伊達氏の藩の境界が確定されたあと、盛岡藩では伊達領に通じるこの地に、大槌代官所管轄の番所を設け、兵馬を常置して通行人の取締や藩境の巡視整備にあたりました。

平田から石塚峠を越えて本郷に通じる旧道は、古い時代から浜道筋（浜街道）と称して沿岸を結ぶ重要な交通路であり、平田御番所が設置された場所は浜道筋と尾崎神社へ向かう道の分岐点にあたり、要所とされていました。

平成 23(2011)年の東日本大震災津波により、設置していた標柱・説明版が破損流出したため、修復後に現在の地（むつわ公園内）に再設置されました。復興事業により元の場所から若干移動しています。



震災前